



栃木県初！地域課題型インターンシップ募集

コロナ禍、テレワークなど新しい働き方が受け入れられる「正解がない時代」の到来が予想される中、地域では自ら地域課題を解決できる人材が求められています。

そこで、塩谷町と足利市で「地域課題解決型インターンシップ」を募集します！

地域で活動する人たちと一緒に活動する中で、地域課題を見つけ、自らの力で解決していく長期滞在型プログラム、ぜひご参加ください！

塩谷町

募集人員：2名

期間：8月下旬～9月末の間、2週間～1か月

『移住・定住の促進』

移住・定住を促進するために、子育て世代や若者に向けた情報発信するためのコンテンツ制作を実施

『観光資源の活用・情報発信』

名水百選に選定された尚仁沢湧水等があるが若者の視点から観光資源となりうるものを、新たに発掘し、活用方法や情報発信を提案



足利市

募集人員：2名

期間：8月下旬～9月末の間、2週間～1か月

『新しい暮らし方・働き方の提案』

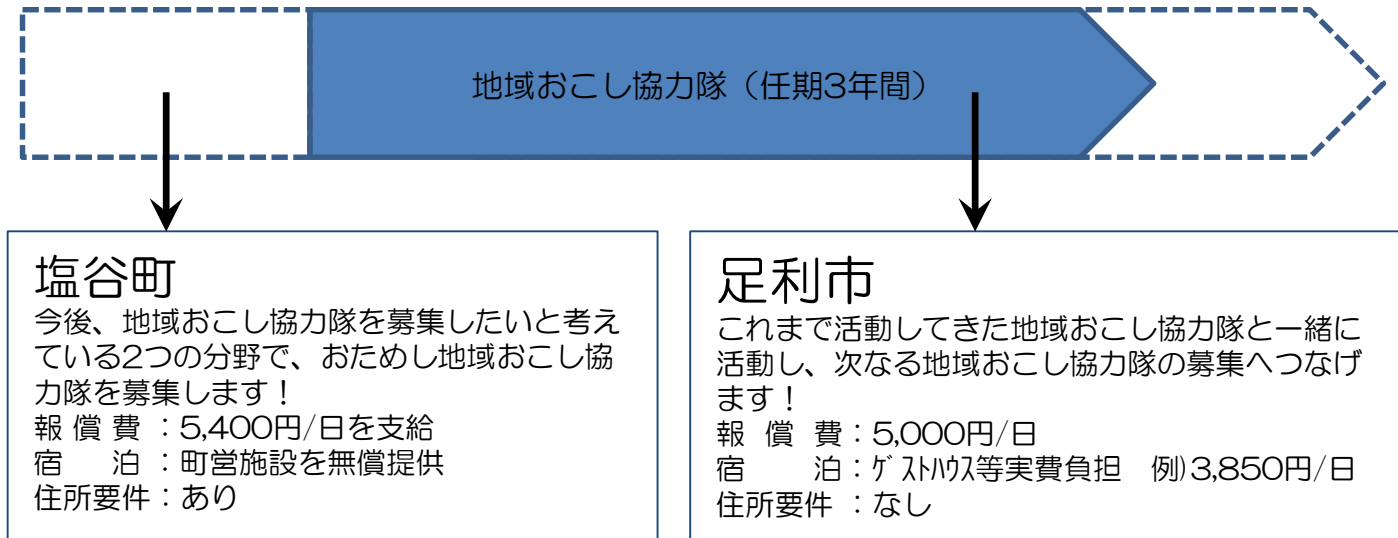
地域おこし協力隊の活動（映像、アート、農業、空き家活用）と一緒に体験。これからの時代求められる新しい暮らし方・新しい働き方を提案

今後の流れ

- 5月上旬～ : 学生の募集開始（市町からの説明、現地訪問）
6月下旬 : 参加学生の選考
8月下旬～9月下旬 : インターンシップの実施
11月～12月(予定) : 成果報告会

概要

栃木県内では、現在61人の地域おこし協力隊が地域活動を行っています。
総務省は、今年度より2週間以上3ヶ月以下の期間、実際の地域おこし協力隊の業務に従事することを通じ、地域おこし協力隊本体への応募などにつなげる取組みとして「地域おこし協力隊インターン」をスタートさせました。
この度、塩谷町と足利市が宇都宮大学及び栃木県と連携し、地域で活動する人たちを増やす取組みとして、同制度を積極的に活用し「地域課題型インターンシップ」を試行します。



住所要件とは？

- 3大都市圏をはじめとする都市地域等から過疎、山村、離島、半島等の地域に滞在する者であること。
※同一市町村内において既に住民票の異動が行われている者等については含まない。
ただし、「地域おこし協力隊員」であった者、又は語学指導等を行う外国青年招致事業を終了した者又は海外に在留し市町村が備える住民基本台帳に登録されていない者で、3大都市圏外の全ての市町村及び3大都市圏内の条件不利地域に生活の拠点を移した者は含めることとする。
※住民票の異動は要しない（住民票の異動を妨げるものではない。）。

連絡先等

受入市町 : 塩谷町企画調整課 TEL : 0287-45-1112 MAIL:kikaku@town.shiogyo.tochigi.jp
足利市総合政策部まちの魅力創出課 TEL : 0284-20-2261 MAIL:machi@city.ashikaga.lg.jp
共 催 : 栃木県総合政策部地域振興課、宇都宮大学地域デザイン科学部附属地域デザインセンター